

第四十四回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案外一件

〔關稅定率法中改正法律案
製鐵業獎勵法中改正法律案〕

委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十年三月二十二日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

指田 義雄君 今泉嘉一郎君 鈴木 錠藏君
八田 宗吉君 廣瀬 鎮之君 北井波治目君
久下 豐忠君 門田 新松君 木下成太郎君
岩切 重雄君 矢野 丑乙君 正木 照藏君
鈴木久次郎君 定行 八郎君 星島 二郎君
山邑太三郎君 山本 藤助君
出席政府委員左ノ如シ

大藏技師 矢部規矩治君
農商務次官 田中 隆三君
農商務省鑛山局長 崎川才四郎君
農商務技師 小西 正二君
農商務技師 野間 譽雄君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案

製鐵業獎勵法中改正法律案

○委員長(指田義雄君) 前回ニ引續イテ開會致シマス——廣瀬君ノ御質問ハ農商務省ニ對シテデスカ、サウスルト大藏省ノ方面ニ對シテ御質問ノ方ハアリマセスカ、星島君アリマスカ——ソレデハ星島君
○星島二郎君 此鐵類ノ改正ハ大體ニ於テ加工製造ト云フモノニ重キヲ置イタモノデアリマセウカ、而シテ政府ハ日本ニ於ケル鐵ノ不足ヲ補フ爲メニ、銑鐵製造業者ヲモ保護スルヤウナ御意旨ガアルカ無イカト云フ事ヲ伺ヒタイノデアリマス、今一ツハ現在ノ輸入滞貨ハ横濱、神戸其他ニ於テ如何程アリマスカト云フコトヲ伺ヒタイ、第三ハ今度ノ改正ニ依リマシテ、主ニハ米國アタリヲ見當ニ付ケテ宜イデセウガ、或ハ最惠條約等ノ關係デ、米國アタリカラ日本ノ絹絲其他ニ就テ不利益ヲ來スヤウナ虞ハナイデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、第四ニハ此案ニ依リマス、第九條ニ「亞鉛華厚〇・二五」ミリメートル「ラ超エザル云々」トアリマス、是ハ免

除サレルノデアリマス、之ヲ無稅ト定メラレテアリマスガ、尙ホ四百六十七ノ所ニ厚〇・二五「ミリメートル」ト云フモノガ無稅ト云フ事ニナツテ居リマス、是ハドウシテ斯ウニ重ニナツテ居ルノデアリマスカ、非常ニ調査ヲ御急ギニナツタ爲ニ見落サレタノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス、今一ツハ化學工業ニ於キマシテ政府ハ燐ニ對シテハ特ニ保護スル必要ハ御認メニナツテ居リマセスカ、以上ノ點ニ對シテ伺ヒマス、
○神輓政府委員 鐵ノ關稅ニ付キマシテ今回ノ改正ハ加工業ヲ保護スルコトニ云フコトニ解釋シテ宜イカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ加工ト云フ言葉ノ意味ガドウ云フコトヲ現ハスカト云フコトニ歸著スルデアラウト思ヒマス、要スル御質問ノ要點ハ銑鐵稅ヲ此際動かサナカッタ、而シテ其以上ノ鋼塊、鋼片若クハ條竿板等ノ鐵ノ稅ガ上ツテ居ル、ソレデアルカラ鑛石カラ「スタート」シテ鑛石ヲ熔カシテ銑鐵ヲ作ルト云フコトニ對シテハ保護シナイ、デ其以上ノ工程ヲシタモノヲ保護スル、意味ガ斯ウ云フ意味ト致シマスレバ、此法案ノ結果ハサウスルトニナリマドウ云フ意味カト云フ事ニ就キマシテハ、是ハ先日モ申上ゲタト思ヒマスガ、日本ノ鑛石ヲ利用シテ鐵ヲ造ツテ行クト云フ此精煉事業モ、勿論鐵工業ト致シマシテハ重要ナ點デアリマスカラ、ソレニハ何トカシテ日本内地ノ鐵ノ事業ガ十分成立ツテ行ケルヤウニト云フ事ハ希望致シテ居リマスガ、之ニハ只今ノ所日英協定ノ關係ガゴザイマス、又其他ノ諸國モ概シテ最惠國約款ノ關係ガアリマシテ、皆ソレニ均需致シマス、ソレデ今日假ニ此稅金ヲ引上ゲマシタ所デ、米國若クハ印度方面カラ來ル銑鐵ニハ改正シタ稅率ヲ適用スル事ハ出來ナイノデアリマス、唯ダ最惠國約款ノ存在致シマセヌ支那方面カラ來ルモノダケガ高イ稅ヲ課セラレルト云フコトニナルノデアリマス、サウスルト致シマスレバ支那方面カラ來ルモノト云ハ何デアルカト云ハ、是ハ主ニ製鐵所其他民間

デモ取ツテ居リマスガ、大冶ノ鐵デアルトカ、或ハ滿洲方面デヤツテ居リマス鞍山站、本溪湖、何レモ日本人關係ノ事業デアルモノガ、他ノ歐米諸國若クハ印度方面カラ來ルモノヨリモ、不利益ナル待遇ヲ受ケルト云フコトニナリマスノデ、今日ニ於テ銑鐵ノ稅ヲ動かスノハ其時機デナイト考ヘマシテ、是ハ手ヲ觸レナカッタ譯デアリマス、決シテ日本ノ銑鐵事業ヲ抛ツテ置イタラ宜イ、又此儘デモ宜イト云フ意味デハナイノデアリマス、而シテ將來ハドウスルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、是ハ條約ノ關係ガアル次第デアリマシテ、根本的ニ此稅率ヲ高クスルト云フコトニ致シマシテモ、先ヅ協定ノ關係ガ變ラナケレバ、實際ニ於テ役ニ立タナイ次第デアリマス、ソレカラ又此銑鐵ヲ上ゲルト云フコトニ就キマシテハ、内地ノ鐵ノ鑛石ノ分量デアルトカ、其他種々ノ關係モ十分考ヘナケレバナリマセヌノデ、ソレ等ノ點ハ慎重ニ考慮シテ何カ適當ナ方法ヲ考ヘナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、差當リ兎ニ角協定稅率ノ關係モアリ、又日本人ノ關與シテ居ルモノデアリ、特ニソレダケ不利益ノ待遇ヲ與ヘルト云フコトハ面白クナイト云フノデ、是ハ除イタ次第デゴザイマス、ソレカラ横濱其他各地方ニ於ケル滞貨ガドウ位アルカト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ鐵ダケニ致シマス、一寸數字ヲ持合セマセヌガ、是ハ輸入サレナイ物モ、亦輸入サレタ内地ノ商人等ノ手ニ滞ツテ居ル物モ、總計シテ大ザッパノ話トシテ、去年末位カラノ滞貨ガ三十萬噸位ト稱セラレテ居リマス、次ニハ此九條ノ二項ノ「輸入原料品ニシテ亞鉛華厚〇・二五」ミリメートル「ラ超エザル」亞鉛薄板又ハ命令ヲ以テ指定シタル肥料ノ製造ニ使用スルモノニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ免除又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得「此讀方ヲ少シ誤解サレテ居ッタノデハナイカト思ヒマス、此意味ハ輸入原料品ヲ用キ、厚〇・二五「ミリメートル」ノ薄板ヲ製造シタモノハ、其輸入原料品ノ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スノ

デ、亞鉛薄板ノ拂戻ヲスルノデハアリマセヌ、亞鉛ノ塊狀ヲ輸入致シマシテ、薄板ヲ造ル場合ニハ、其塊狀ノ税金ヲ免除スル、若クハ拂戻ヲスルト云フノデ亞鉛ノ薄板ノ厚〇・二五「ミリメートル」ヲ超エザル物ハ無稅ニナツテ居リマスノデ、製品ガ無稅ナノデアリマシテ、原料ハ有稅ナノデアリマス、其製品ヲ内地デ造ル物ニ就テ、其原料ナル有稅品ノ免除若クハ拂戻ヲスルト云フノデゴザイマス、是デ多分此點ハ御了解ニナリマシタコト、考ヘマス、ソレカラ日本ノ鐵ノ關稅ハ、昔カラ約從價一割五分位ノ見當デ計算ガ出來テ居リマシタガ、物價ノ甚シク變ツテ居リマシタ結果、只今ノ從價稅率ハ非常ニ安クナツテシマツタ、ソレヲ從價ノ一割五分ノ元ノ通りニ直スト云フヤウナ形デゴザイマスカラ、是ハ唯ダ見當ノ話デ、豫メ外國ト交渉シタコト云フコトモナイノデアリマスカラ、何トモ申上ゲルコトモ出來ナイ譯デアリマスカレドモ、之ガ爲メニ歐米アタリニ於テ、之ニ對抗スル課稅ヲスルト云フヤウナ事ハ考ヘラレナイノデアリマス、尤モ亞米利加アタリニ於キマシテ、頻ニ關稅改正ノ議論モ八釜シウゴザイマス、殊ニ亞米利加ノ如キハ由來相當高イ保護稅ヲ課セルコトニナツテ居ル國柄デアリマスカラ、此度ノ改正ニ依リマシテ、或ハ日本ノ關係品ニ稅ヲ課セルヤウニナル場合ガナイトハ言ヘナイト思ヒマス、併ナガラソレハ日本ニ於テ鐵ノ稅ナドヲ改正シタガ爲メニ、ソレノ報復稅トシテ課セルモノデアルト云フ様ナ事ハ考ヘラレナイト思ツテ居リマス、燐ニ就キマシテハ前カラ是ハ問題デアリマシテ、種々政府當局ニ於キマシテモ研究シタ事ガゴザイマスガ、只今ノ所デハ兎モ角モドウヤラ成立ツ計算ニナツテ居ルサウデアリマス、ソナナ點デ此際緊急改正ヲ要スルト云フ物ノ中ニハ加ヘナカッタ次第デアリマス、併シ前カラ屢々此處デモ問題ニナリマシタノデスカラ、此以外ニモ種々關稅ノ改正ト云フ事ニ就テハ議論ガゴザイマス、ソレデ只今ノ關稅定率ト云フモノハ何分ニモ今ノ時勢トハ大變違ツタ時代ニ於キマシテ決メマシタモノデ、殊ニ從量稅ニナツテ居リマスノデ、價格ノ變動ダケノ點ニ於キマシテ、大分只今カラ見ルト今ノ事情ニハ添ハナイ

點ガ澤山アリマスカラウニ考ヘラレマス、例ヘバ稅率ノ權衡ノ問題等ニ於キマシテモ、大分添ハナイ點ガ澤山出來テ居リマスノデ、之ヲ一般的ニ早晚改正ヲセネバナラス、ソレガ爲メニハ隨分品目モ多ク多種多樣デゴザイマスカラ、相當調査ノ期間モ必要デアラウト考ヘテ居リマスカラ、政府ニ於キマシテモ其調査ハ怠ラズヤツテ居ル次第デゴザイマスガ、マダ今日ニ於テ全體ノ改正案ヲ得ルト云フマデニ至ツテ居リマセヌノデ、提案致シテ居リマセヌガ、併シ是ハ早晩何トカシナケレバナラナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、是等ノ種々ノ問題ニ就キマシテハ、尙ホ政府ニ於テ十分考慮スル意嚮ヲ持ツテ居リマスカラ——山本君

シテ課稅スルカト云フ、是カ第二ノ改正ノ點デアツテ、今迄ハ何時輸入申告ヲ致シテモ、二年前ニ來タ物デモ、一年前ニ來タ物デモ、主トシテ「インボイス」メ「ラ標準」トシテ課稅スルト云フヤウナ規定ニナツテ居リマス、此度ハソレヲ改メマシテ、輸入ノ際ニ於ケル到著價格、即チ輸入申告ヲシヤウト云フ時ノ價格ニナリマスカラ、今ノ御話ニ就テハ元ノ高イ價格ニ依ラナイデ、現在ノ相當シタ價格ニ依ツテ課稅スルコトニナリマス

メ外國ト交渉シタコト云フコトモナイノデアリマスカラ、何トモ申上ゲルコトモ出來ナイ譯デアリマスカレドモ、之ガ爲メニ歐米アタリニ於テ、之ニ對抗スル課稅ヲスルト云フヤウナ事ハ考ヘラレナイノデアリマス、尤モ亞米利加アタリニ於キマシテ、頻ニ關稅改正ノ議論モ八釜シウゴザイマス、殊ニ亞米利加ノ如キハ由來相當高イ保護稅ヲ課セルコトニナツテ居ル國柄デアリマスカラ、此度ノ改正ニ依リマシテ、或ハ日本ノ關係品ニ稅ヲ課セルヤウニナル場合ガナイトハ言ヘナイト思ヒマス、併ナガラソレハ日本ニ於テ鐵ノ稅ナドヲ改正シタガ爲メニ、ソレノ報復稅トシテ課セルモノデアルト云フ様ナ事ハ考ヘラレナイト思ツテ居リマス、燐ニ就キマシテハ前カラ是ハ問題デアリマシテ、種々政府當局ニ於キマシテモ研究シタ事ガゴザイマスガ、只今ノ所デハ兎モ角モドウヤラ成立ツ計算ニナツテ居ルサウデアリマス、ソナナ點デ此際緊急改正ヲ要スルト云フ物ノ中ニハ加ヘナカッタ次第デアリマス、併シ前カラ屢々此處デモ問題ニナリマシタノデスカラ、此以外ニモ種々關稅ノ改正ト云フ事ニ就テハ議論ガゴザイマス、ソレデ只今ノ關稅定率ト云フモノハ何分ニモ今ノ時勢トハ大變違ツタ時代ニ於キマシテ決メマシタモノデ、殊ニ從量稅ニナツテ居リマスノデ、價格ノ變動ダケノ點ニ於キマシテ、大分只今カラ見ルト今ノ事情ニハ添ハナイ

○委員長(指田義雄君) 星島君、モウ宜シウゴザイマスカラ——山本君

○山本藤助君 私ハ鐵ノ事デ一寸御尋シタイノデスガ、政府ハ今度關稅定率案ヲ改正セラレテ、從價ニ依ツテ課稅セラレ、コトニナリマシタ場合ニ、從來鐵價好況時代ニ鐵業者デアリマセヌ所謂恩惠ノヤウナ人竝ニ當業者ガ、一噸二百圓乃至三百圓ト云フヤウナ高價ヲ以テ、輸入約定ヲシマシテ、現在保稅倉庫ニ到著シテ居ルモノガ幾萬噸アリマシテ、其幾萬噸ノ鐵ハ銀行若クハ他ノ金融業者ニ金融ヲ頼ンデ、其品物ハ空シク倉庫ニ停滯シテ、價格ガ下ツタ爲メニソレヲ動カスコトモ出來ナイ狀態ニ居ルノデアリマスカラ、若シ此保稅ニナツテ居リマス品物ガ、從價課稅ヲ受クルコトニナリマシタラ、矢張其品物ヲ從前ノ稅ニ依ルカ、或ハ「インボイス」メ「ラ」ノ高イ價格ニ依ツテ課稅セラレ、カ、又ハ當時ノ時價ニ依リマスカ、其邊ヲ第一御尋致シマス

○山本藤助君 今一ツ御尋シタイノハ、今度ノ改正稅法ニ依ルト、殆ド全部從價稅ニ變更サレテ居リマス、元ハ每百斤幾ラト云フ從量稅デアリマシタガ、從來鐵ノ關稅ノ從量稅バ條綱——「一番需要ノ多イ物ニ向ツテ每百斤從量ニ對シテ六十錢デアリマシタガ、今回政府提出ノ關稅ハ輸入從價稅ニ變更サレテ居リマスカラ、爲メニ、現今實際ニ於テ外品輸入價格、即チ「シ」アイ、エフ」即チ運賃保險料ヲ加ヘタモノガ、著地ノ原價デ一噸百三十圓乃至百四十圓デ當時輸入業者ガ輸入ヲシテ居ルノデアリマスカ、今之ヲ假ニ百三十圓ノ原價トシテ、今回提出サレタ從價ノ一割五分十九圓五十錢ヲ加算スルト、原價ハ百四十九圓五十錢ト云フ原價ニナリマスカ、一方製鐵業者ハ其會社ノ財產狀態、或ハ原料値段、設備工賃等種々ノ關係ニ依ツテ製造原價ハ固ヨリ一様デアリマセヌガ、先ヅ一噸百五十圓位デアレバ、内地ノ製造業者ガ奮發スレバ出來得ルモノト考ヘラレルノデアリマスカ、サウスレバ前申シタ輸入原價ト略々同額ニナルノデアリマスカ故ニ、現在ニ於テハ内地ノ生産ヲ阻碍サレズ、今度ノ改正法ノ一割五分ガ稍々保護ノ意味ニナルノデアリマス、仍ツテ其從價稅ヲ矢張從量稅トシテ、每百斤、之ヲ今ノ稅率ニスルト一圓十六錢ニナリマスカ、之ヲ少シ上ゲテ每百斤一圓五十錢、即チ一噸二十五圓位ニ從量稅ニ限定セラレマシタナラバ、内地ノ生産業者ニ於テモ輸入原價ノ百二十五圓迄ハ支ヘ得ラル、勘定ニナル、萬一其以下ニ下落シタ場合デモ、原價ト下落差金トノ外ニハ、從價稅ノ減少ニ依リマシテ——稅ノ金額ノ減少ニ依ツテ生ズル差金増加ノ損害ノ苦痛ヲ免レテ、原價ノ下落ニ對シテハ之ニ

○神輦政府委員 只今ノ御話ハ此法律ノ施行ハ勅令ヲ以テ期日ヲ定ムルコトニナツテ居ル、其施行前ニ輸入申告ヲ致シマシタ物ニハ、現行稅法ニ依ツテ課稅セラル、事ニナツテ居リマス、是ハ定率法デアリマセヌ、關稅法ニ於キマシテ輸入申告ヲシタ日ノ法律ノ適用ヲ受ケル事ニナツテ居ル、此法律ガ施行前ニ輸入申告、詰リ輸入シテ來テ居ルト云フ意思ヲ表示シマスレバ、是ハ現行稅法ニ依ツテ課稅セラレル、又此法律ガ施行サレテ後ニ於テ如何ナル時ノ價格ヲ標準ト

シテ課稅スルカト云フ、是カ第二ノ改正ノ點デアツテ、今迄ハ何時輸入申告ヲ致シテモ、二年前ニ來タ物デモ、一年前ニ來タ物デモ、主トシテ「インボイス」メ「ラ標準」トシテ課稅スルト云フヤウナ規定ニナツテ居リマス、此度ハソレヲ改メマシテ、輸入ノ際ニ於ケル到著價格、即チ輸入申告ヲシヤウト云フ時ノ價格ニナリマスカラ、今ノ御話ニ就テハ元ノ高イ價格ニ依ラナイデ、現在ノ相當シタ價格ニ依ツテ課稅スルコトニナリマス

○山本藤助君 今一ツ御尋シタイノハ、今度ノ改正稅法ニ依ルト、殆ド全部從價稅ニ變更サレテ居リマス、元ハ每百斤幾ラト云フ從量稅デアリマシタガ、從來鐵ノ關稅ノ從量稅バ條綱——「一番需要ノ多イ物ニ向ツテ每百斤從量ニ對シテ六十錢デアリマシタガ、今回政府提出ノ關稅ハ輸入從價稅ニ變更サレテ居リマスカラ、爲メニ、現今實際ニ於テ外品輸入價格、即チ「シ」アイ、エフ」即チ運賃保險料ヲ加ヘタモノガ、著地ノ原價デ一噸百三十圓乃至百四十圓デ當時輸入業者ガ輸入ヲシテ居ルノデアリマスカ、今之ヲ假ニ百三十圓ノ原價トシテ、今回提出サレタ從價ノ一割五分十九圓五十錢ヲ加算スルト、原價ハ百四十九圓五十錢ト云フ原價ニナリマスカ、一方製鐵業者ハ其會社ノ財產狀態、或ハ原料値段、設備工賃等種々ノ關係ニ依ツテ製造原價ハ固ヨリ一様デアリマセヌガ、先ヅ一噸百五十圓位デアレバ、内地ノ製造業者ガ奮發スレバ出來得ルモノト考ヘラレルノデアリマスカ、サウスレバ前申シタ輸入原價ト略々同額ニナルノデアリマスカ故ニ、現在ニ於テハ内地ノ生産ヲ阻碍サレズ、今度ノ改正法ノ一割五分ガ稍々保護ノ意味ニナルノデアリマス、仍ツテ其從價稅ヲ矢張從量稅トシテ、每百斤、之ヲ今ノ稅率ニスルト一圓十六錢ニナリマスカ、之ヲ少シ上ゲテ每百斤一圓五十錢、即チ一噸二十五圓位ニ從量稅ニ限定セラレマシタナラバ、内地ノ生産業者ニ於テモ輸入原價ノ百二十五圓迄ハ支ヘ得ラル、勘定ニナル、萬一其以下ニ下落シタ場合デモ、原價ト下落差金トノ外ニハ、從價稅ノ減少ニ依リマシテ——稅ノ金額ノ減少ニ依ツテ生ズル差金増加ノ損害ノ苦痛ヲ免レテ、原價ノ下落ニ對シテハ之ニ

對スル生産費ヲ輕減シタナラバ、内地ノ生産業者モ小康ヲ保ツ事ガ出來ルヤウニ考ヘラル、ノデアリマス、又輸入價格ガ百三十圓以上ニ騰貴シタ場合デモ、關稅率ガ從量稅デアツテ一定シテ居ルト、需要者ニ於テモ、餘リ高價ノモノヲ買入レナイデ、内地ノ製品ヲ買入レル事ガ出來マス、ソレノミナラズ、貿易業者、販賣業者ニ於キマシテモ、從量稅ハ一定マツタ一定稅デアリマス爲メニ、久シク慣習的ニ使ヒ慣レテ非常ニ便利デアリマス爲メニ、採算ノ上ニモ甚ダ簡便デアリマス、然ルニ時々相場ノ變動スル從價稅ニ依リマス、採算ガ非常ニ面倒バカリデナク、外國ノ賣ル國ト申合フシテ「インボイス」ノ價格ヲ限定シテ、減少ヲ圖ツタリスル者ガ或ハ無キニシモアラズト考ヘルノデアリマス、故ニ矢張從量稅トシテ稅額ハ少クトモ、毎百片一圓五十錢位ニセラレンコトヲ希望シマス同時ニ、從量稅ヲ從價稅ニ變更サレタ大體ノ理由ヲ承リタイト思ヒマス

○神輦政府委員 只今ノ御質問ハ從價稅ガ宜イカ、從量稅ガ宜イカト云フコトニ結局歸著スルト思ヒマス、此鐵物ノ如キ重ニ物ノ定マツテシマツテ居ル、餘リ種類ノ澤山ナイ物ハ、取扱上カラ申シマシテモ、御話ノ通り從量稅ガ便利ナノデアリマス、唯ダ品質ノ一定シナイ物、同ジ一ツノ項目ノ中ニ於キマシテ、色價值ノ高イ安イガアル、甚シイ狂ヒノ多イ物ハ、合ガ惡ウゴザイマス、或ハ今御話ノ條管ナド、云フ所ノ物ハ、成ルベク一定シタ從來ノヤウナ從量率ノ方ガ取扱上ニモ便利デアルカト考ヘマス、之ニ就キマシテハ出來ル事ナラバ、或ハ從量率等モ玆ニ計算ヲ仕出シテ、適當ナ率ヲ定メルナラバ寧ロ宜イカ知ラント思フヤウナコトモ考ヘルノデアリマスガ、併ナガラ物價ガ今マデ本統ニ定ツタト云フ狀態ニ至リマセヌ間ニ於キマシテ、今此處デソレヲ標準ニシテ從量率ヲ定メルト云フコトハ困難デアル、直チニ玆ニ鐵ノ價值ガ百三十圓デアアル、百五十圓デアアルト云フ風ニ頭カラ極メテ定メルコトヲ致シマセヌ、一面ニ於テ各々利害ノ伴フ說デアリマスケレドモ、從價稅ニモ從價稅トシテノ特長ガアル譯デアアル、其物ヲ保護スルト云フ意味カラ申シマスレバ、從價稅ニ依

レバ高イモノニハ稅ガ掛リ、安イ物ニハ安クテ濟ムト云フコトガアリマシテ、動キノ取レマス點ニ於キマシテ、亦他ノ有利ナル方面モアルノデアリマス、只今ノ所デハ先ツ從價稅——從價稅ヲ玆ニ定メルト云フコトハ、今ノ狀況ニ於キマシテハマダ其時機デナカラウ、斯ウ云フ意味カラ以チマシテ、總テ從價稅ニ定メタト云フ次第デアリマス

○山本藤助君 餘リ長タラシク御尋シマシタガ、其要點ハ私ノ考ヘデハ、假リニ今外國ノ價值ヲ百三十圓トシテ、從價稅ヲ從量稅ニシマシテ一噸ニ對シテ二十圓ナラニ十圓トスル、サウスルト百三十圓ノ原價ト二十圓ノ關稅ヲ課スルト百五十圓ニナル、内地ノ製鐵ガ百五十圓スレバソレデ保護ノ意味ヲ爲シマスガ、是ガ從價ニ依レバ百三十圓ガ假ニ百二十圓ニ原價ガ下ルト、原價ニ十圓ノ差ガ出來ル上ニ、從價稅ニ依ルト、ソレニ一割五分デ一圓五十錢付イテ居リマスカラ、下レバ下ル程遠フ、賦率ガ殖エテ來テ困ルダラウ、又一方カラ云ヘバ賣主トノ間ニ持切レズ、能ク「インボイス」メン「下ルコトガアリマスカラ、一種ノ脫稅減稅ヲ計ルモノガアリマスカラ、サウ云フ嫌ガナクテ宜カラウト思ヒマス

○神輦政府委員 唯今ノ御質問ハ多少私ガ誤解シテ居ツタ點ガアルカ知レマセヌ、御話ノ通り從價稅ダト安イ時ニハ價值ガ安クナツテ來ルト税金ガ安クナル、サウナルカラ保護ガ一定シナイト云フ點ガアルト云フコトハ、是ハ御話ノ通りデアラウト思ヒマス、併シナガラソレハ一ツノ同ジモノニ就キマシテ價值ノ高下致シマス場合デアリマスガ、又一面カラ申シマスレバ、例ヘバ同ジ項目ニ於キマシテ、特別ノ品物ト云フモノニ就キマシテ價值ガ高カッタリ安カッタリ、同ジ項目ノ間ニ高イ價值ノモノト安イ價值ノモノトアル次第デアアル、ソレハ若シ從量稅ニ定メマス、サウ云フモノヲ一、別ケマシテ項目ヲ盡ク分類シテ定メナケレバ、適當ノ率ガ定メラレス譯デアリマス、是ハ物價ノ關係ガ今少シ見据ガ付クト云フコトニナリマセヌト、其從量率ヲ定メルコトハ非常ニ困難デアリマス、ソレ等ノ點ガアリマシテ斯ウ云フ風ニ致シマシタ、ソレカラサウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、

此價格等ニ就キマシテ今少シ狀況ガ定マリマシタ曉ニ於キマシテ、御話ノ通り適當ナ從量率ヲ定メルコトニナツタラ、從量率ノコトヲ極メテ見タイト云フコトハ考ヘテ居リマス次第デアリマス

○久下豐忠君 昨ハ一昨々日午前ニ缺席致シマシタノデ、既ニ濟ンデ居ルカ知リマセヌガ、御伺シタイノハ、此改正案ノ脂肪分解工業ヲ保護スル目的ヲ以テ、半脂ノ分解ヨリ生ズル產物デアアル「クチアリ」及「オレイ」ン「バルペン」リックス「此三種ノモノニ殆ド三倍ニ近キ輸入増稅ト云フコトニ相成ツテ居リマスガ、殊ニ脂肪分解工業ノ產物デアアル「グリセリン」及「グリセリン」ヨリ取レル「ダイナマイト」之ニ對シテハ納稅ノ賦課ヨリ省カレテ居リマスノハ、ドウ云フ理由デゴザイマセウカ、同ジ脂肪分解工業ノ同一ノ產物デアツテ……

○委員長(指田義雄君) 久下君ニ一寸御注意シマスガ、前ノ時ニ此會議デ其點ハ御質問モ出マシテ、政府ノ答辯モアリマシテ、其結果希望條件デモ付ケテ置カウカト云フヤウナ御相談ガ出來テ居リマスヤウデスカラ、其邊ノ事情ヲ御諒解下サイマシテ、極メテ簡單ニ願ヒタイ

○久下豐忠君 御答辯ガアツタノデスカ

○委員長(指田義雄君) サウデス

○久下豐忠君 ソレデハ速記ヲ見マスカ其方ニ承リマセウ

○委員長(指田義雄君) 廣瀬君次官ガ出テ來テ居リマスカラ——マダ貴方ハ一言モ御發言ナサラスカラ此際ドウカ

○廣瀬鎮之君 此鐵ノ製作ニ就キマシテ大體ノ御意見ヲ一寸伺ツテ見タイト思ヒマスガ、我鐵ノ事業ニ就テハ一昨年カラ隨分八釜シイ、救濟ノ聲モ出テ居リマスノデアリマスガ、甚ダ關稅ノ改正ノミデハ到底徹底シタ救濟ノ出來ルモノデナイト信ジマス、就キマシテハ何カモウ少シ積極的ノ方法ヲ以テ此鐵ノ救濟ヲ計ラナケレバ、國家ノ由々シキ大事デアラウト考ヘマスノデ、就キマシテ八幡製鐵所ノ如キ或ハ拂下ゲラレルカ、又ハ民間ノ各主ナル製鐵所ヲ買上ゲラレルカ、或ハ是等ノ物ヲ合同シテ半民半官ノ

體ニ於テ經營ヲスルコトニセラレカ、サウシテモ
ウ少シ救済ノ實ヲ擧ゲナケレバ洵ニ心配ニ堪ヘヌノ
デアリマス、斯ウ云フコトニ就テ政府ハ無論十分ノ
御考慮モアルコトデアラウト考ヘマスガ、此際御腹
藏ナク御考ノ所ヲ一ツ承ツテ置キタイト考ヘマスカ
ラ、御漏シテ願ヒタウゴザイマス

○田中政府委員 御答申上ゲマスガ、一寸御質問ニ
モゴザイマス如ク、戰時中殊ニ外國ノ鐵ガ我國ニ輸
入スルコトハ困難ニナリマス、又ソレト逆比例シテ、
我國ノ一般工業ガ非常ニ進歩致シマシテ、鐵ノ需要
ガ益々加ハルト云フ狀況ト伴ヒマシテ、一般ノ我國
ノ鐵事業ト云フモノハ非常ニ進歩致シマシタ、大體
ニ於キマシテ戰前ノ二倍位ノ狀況ニ迄進んで參リマ
シタ、所ガ休戰條約ト共ニ所謂内地ノ事情モ變リ、世
界ノ狀況モ變リマシテ、急轉直下トモ申スベキ大影
響ヲ受ケマシテ、非常ニ困難ナル事情ニアルト云フ
コトハ、丁度御尋通リデアリマス、ソレニ就キマシテ
然ルベキ方法ニ依ッテ此事業——國家ノ爲メニ大切
ナル此鐵事業ノ將來頓挫ヲ來サナイヤウナ方法ヲ採
リタイト云フコトヲ、政府ニ於テモ方針ヲ定メマシ
テ、臨時經濟調查會ニ諮問セラレテ居リマス、此
道ニ深キ經驗ヲ持タレ、色々ナ學識ヲ持ッテ居ラレ
方々ガ來ラレマシテ、長キ年月ニ互ッテ種々攻究ヲ盡
サレタ結果、答申案ガ出マシタノデアリマス、其答申
案ノ一ツトシテ只今丁度御審議ヲ煩ハシテ居リマス
ル所ノ此關稅ノ改正ト云フコトガ生レテ來タデア
リマス、是ガ其一ツデアリマス、併ナガラ其答申案
ニモ尙ホ他ノ案ガアリマス、其案ノ一ツハ只今御話
ニモゴザイマシタ此合同、合同ト云フコトハ色々ナ
意味ニナリマスケレドモ、兎モ角モ極ク直接ナ——
直接ノ合同ト申シマスと色々ナ澤山ニ分レテ居ル小
事業ヲ纏メテ、一丸トスルト云フコトモ合同デアリ
マス、又合同ノ途中トデモ申シマセウカ、又或意味
カラ行ケバ、或意味ノ合同デモゴザイマセウ、一種ノ
「シンジケート」ノヤウナモノヲ造リマシテ、或ハ原
料ヲ買入レルコトニ就テ合同スルトカ、色々ナル生
產物ヲ賣捌クコトニ就テ合同致シマスとカ、兎モ角
鐵事業ト云フヤウナ大資本ヲ要スル大キナ仕事トナ

ルベキ性質ノモノデアアルカラシテ、何等カノ意味ニ
於テ之ヲ合同スルト云フコトハ、極メテ必要ナル政
策ト認メルト云フ復申ニナツテ居リマス、政府ニ於キ
マシテモ其鐵ニ就テハ深ク考慮シテ居ル譯デアリマ
シテ、直接間接何等カノ方法順序ヲ以テ、我國ノ鐵事
業ガ其途ニ進ンデ行ク方ニ努メタイト思ッテ居リマ
ス、而シテ委員會ニ於ケル決議デゴザイマセスケレ
ドモ、段々審議ノ模様ニ依ッテ見マスルト固ヨリ日本
全國ノ總テノ鐵事業ヲ一ツニ纏メルト云フヤウナ事
ハ、宜イトシテモ中々容易ニ短日月ノ間ニ進ムベキ
モノデナイ、例ヘバ其階梯トシテ最寄々々デ、九州附
近ヲ中心トスル所ハ製鐵所ガ本ニナツテ一ツニナル
トカ、北海道ハ又或場所ニ於テ集マル、朝鮮ニ於テハ
或所ニ於テ集メルトカト云フヤウナ、最寄々々便宜
便宜ニ依ッテ集メルト云フコトモ一ツノ方法デア
ル、又更ニソレガ第二段ノ合同ヲスルト云フ時期モ到來
シヤウト云フコト迄モ、或ハ場所々々迄モ互ニ名指
シ合ッテ、極ク親シイ間ノ話ヲ交換致シマシテ、政府
ニ於テモ其等ノ評議ノ事ニ就キマシテハ、最モ官民
力ヲ協セテ何等カノ方法順序ニ依ッテ、御質問ノ如キ
趣意ニ向ッテ進ンデ行クコトヲ期待シテ居ル譯デア
リマス

○山本藤助君 今ノ次官ノ御話ニ關聯シタコトデア
リマスガ、十九日ノ委員會ニ參リマセスデ、能ク存
ジマセスデスガ、新聞ノ委員會ノ記事ヲ見マスと、
東洋製鐵會社ガ經營困難ノ爲メニ、製鐵所ガ之ヲ
引受ケル、ソレニ就テハ政府ハ其契約案ノ提出中デ
アルト云フコトヲ新聞見マシタガ、若シ事實ト致
シマシタナラバ、他ノ東洋製鐵所同様に假ニ六大會
社ト言ハレマスモノ——其他色々ノ製鐵業者ガ、非
常ニ困難シテ居ル、殆ド煙ヲ揚ゲルコトガ出來ナイ
ヤウナ狀態ニ在ルノデアリマスガ、ソレ等ノ者ガ矢
張政府ニ申出デタラ、東洋製鐵所同様に取扱ハ出來
ナイカ、何カ特別ノ條件カ、或ハ資本金トカ、或ハ機
械トカト云フヤウナ物ノ設備ノ程度ガアリマスカ、
其邊ヲ序デニ承リタイ

○田中政府委員 只今御尋デゴザイマシタガ、前回
ノ委員會ニ於テ如何ヤウナ御評議ガアツタカ、實ハ私

ハ出席シマセヌノデ存ジマセヌガ、其東洋製鐵所ノ
事デアリマスレバ、恰モ只今申上ゲマシタヤウナ、兎
モ角モ其製鐵ノ事業ト云フモノハ、合同ガ出來得ル
ナラバ、合同ニ向ッテ歩ヲ進メテ參リタイト云フ考ヲ
持ッテ居ル譯デアリマス、併ナガラ其結果トシテト云
フ意味デハゴザイマセヌガ、恰モ東洋製鐵ガ種々ナ
御事情ノ爲メニ、彼ノ事業ノ——彼ノ工場ヲ製鐵所
ニ任セタイ、製鐵所モ恰モ此熔鐵ヲ、所謂熔解シタ儘
デ製鋼ヲ致シマス材料トシテ、解ケタ儘ノ銑鐵ヲ直
グ之ニ應用スルト云フコトガ極メテ必要ナリ、便利
ナリトシテ居リマシタ際デアリマス、而モ御承知ノ
通り直グ製鐵所ト東洋製鐵トハ界ヲ接スルト云ウテ
モ宜イ程近イ間ノ關係デアリマスノデ、彼ノ工場ヲ
製鐵所ニ於テ借りテ、此所デ仕事ヲスルト云フコト
ノ約束ハ、只今進ミツ、アル譯デゴザイマス、新聞
ニアルトカ何トカト云フコトハ、多分其事デアツタラ
ウト思フ、併ナガラソレガ只今申上ゲマシタヤウナ
事情デ、東洋製鐵カラノ願デモアリ、東洋製鐵ト製
鐵所ダケノ關係デゴザイマス、先キニ申上ゲマシタ
一般ノ方針ニ依ッテ數箇ノ製鐵所ヲ併合スルトカト
云フ意味合ノ話ニ迄進ンデ居リマセヌ

○山本藤助君 委員長

○委員長(指田義雄君) 只今ノ外ニマダアリマスカ

○山本藤助君 マア此位ニシテ置キマス

○久下豐忠君 先刻御尋シヤウト思ツタ所ガ、既ニ質
問ガ濟ンデ居ルト云フコトデゴザイマス、一寸御尋
致シタイノハ大正九年度ニ政府ハ日本「グリセリン」
會社ニ對シテ、約五百萬圓ノ缺損ニ對シテ保護金ヲ
與ヘナケレバナラヌト云フコトニ承ッテ居リマスガ、
果シテ事實デアリマセウカ、ソレカラ若シ其通リト
致シマスレバ、ソレハドウ云フ原因デ左程大ナル缺
損ヲ致シテ居リマスカ、現在ノ此事業ニ對シテ、政府
ハ——此缺損ハ尙ホ三五年ノ間、年々莫大ナ缺損ヲ
生ズルノデアリマスガ、是等ノ點ニ對シテ御見込ヲ
承リタイノデアリマス

○委員長(指田義雄君) 鐵務局長ガ來テカラ御答ニ
ナルサウデ、ソレマデ留保シタイト云フコトデアリ

○正木照藏君 第一ニ私ノ御尋シタイノハ、戰ガ濟ンデ後此鐵業ニ非常ナ變化ヲ及ボシタト云フコトハ、政府委員モ既ニ御話ノ通りデアリマスガ、就キマシテハ政府ハ將來日本ノ鐵ニ就テドウ云フ方針ヲ御探リニナル御考デアルカ、是ガ承リタイ

○田中政府委員 御答申シマス、御承知ノ通り鐵ト云フモノハ有ユル産業ノ基礎トナルベキ重大ナモノデアリ、且又産業ト離レテ直接軍事上ニ重大ナル關係ノアル材料デアリマシテ、有ユル力ヲ盡シテ所謂自給自足ヲ致シタイト云フ考ヲ、官民共ニ持ッテ居ルコトハ諒解シテ居ルノデアリマス、隨テ此鐵ニ就キマシテハ其方針ヲ以テ既ニ製鐵保護獎勵ニ關スル法律ノ御協議ヲ得テ居ル譯デアリマシテ、又此度關稅ノ改正ヲ致スト云フノモ、矢張之ヲ保護致シマシテ内地ノ此事業ノ發達ヲ間接ニ進メテ行クト云フ主義カラ出テ居リマス、尙ホ又先程モ引合ニ申シマシタ財政經濟調査會等ニ於テ各々知識ヲ集メマシテ、深キ研究ヲ致シマシタ結果、現在只今我國ニ於テ既ニ設備セラレ、又設備シツ、計畫シツ、アル所ノ其ノ計畫ニ基キマシテモ、大正十三年度頃ニ至レバ鐵鐵ニ致シマシテモ、我國ニ於ケル需要ノ約八割、又鋼鐵ニ致シマスレバ、七割——勿論年々逐ウテ需要ガ進ムモノト見テ、其十三年ニ於ケル我國ノ需要ニ對シテ七八割ニモ及ベキ產額ヲ見ルコトハ、自然ノ結果デアル、若シ又此事業ノ獎勵保護其宜シキヲ得テ、更ニ仕事ノ擴張計畫等ガ出來ルトスレバ、即チ我國ニ於ケル需要十分満足セシムルコトノ將來ハ、遠クナイモノト認メテ居リマス、出來得ル限り此仕事ノ爲メニ力ヲ盡シタイト思ッテ居リマス、又單ニ仕事ト申シマシタガ、此仕事ノ主タル材料トナルベキモノハ鐵ノ鑛石デアリ、又石炭デアアルノデアリマス、而シテ其鐵ノ鑛石ニ致シマシテモ、石炭ニ致シマシテモ、我が内地ニ於ケル所ノ鐵鑛及朝鮮或ハ我國ノ勢力範圍トモ申スベキ滿洲等ニ於ケル材料ヲ以テスレバ、此目的ヲ達スルコトニ於テ少シモ支障ヲ見ルコトハナイ、斯ウ云フ確信ノ下ニ前申上ゲマス此製鐵業ノ自給自足ヲ圖リタイ、其途ニ向ッテ有ユル力ヲ盡シタイ、斯ウ云フ方針ヲ持ッテ居リマス

○正木照藏君 國家トシテサウ云フ方針ヲ御探リニナルコトハ、勿論デアラウト思ヒマスガ、此製鐵獎勵法ノ成績ハドウ云フコトニナッテ居リマスガ、ソレトモウツハ今關稅ヲ少シ位引上ゲ、ソレデ十分ノ效果ガアルト御認ニナッテ居リマスガ、如何デスカ

○田中政府委員 御答申上ゲマスガ、先刻申上ゲマス通り、此關稅ノ保護ノミニ依ッテ、ソレデ十分デアルトハ申シマセヌノデアリマス、併ナガラ又關稅ナルモノハ他ノ一面ニ於テ他ノ産業ニ或ル程度ノ影響ヲ及ボス事モアルノデアリマシテ、獨リ關稅ノミニ依ッテ保護獎勵ノ目的ヲ十分ニ達スルト云フコトハ、餘程考慮ヲ要スルコト、考ヘテ居リマス、併ナガラ關稅ト致シマシテハ、先ヅ此程度ニ於テ止メルノヲ適當ナリト認メマスノデ、而シテ關稅以外ニ於テ或ハ效果ガ薄イト仰シヤルカモ知レマセヌケレドモ、一面ニ於テハ製鐵ノ保護獎勵モアリマスルシ、又他ノ一面ニ於テハ先刻モ御尋ノアリマシタ如ク、或ハ此事業ヲ合同經營セシムルト云フヤウナ方面ニ向ッテ、力ヲ十分盡スベキ途モアル、詰リ内外ニ互ッテ官民力ヲ協セテ先刻申上ゲマス方針ニ向ッテ進ミタイト云フ考デアリマス

○正木照藏君 製鐵獎勵法ノ成績ハ如何デアリマスカ

○崎川政府委員 製鐵獎勵法施行前ニ於キマシテハ五千二百五十噸ノ能力設備ヲ持ッテ居ルモノガ僅カ十許リデアリマシタガ、獎勵法施行後ニナリマシテ、ソレガ五十ニモ殖エマシタ、唯今次官カラ說明申上ゲマシタ通り、戰爭前ニハ僅カ鋼材鐵共ニ各々二十五萬噸位ノモノデアリマスガ、大正八年ニハ六十一萬噸ノ鐵鐵五十五萬噸ノ鋼材ト云フ位ニナッテ參リマシタ、尙ホ十二年ニハ唯今申サレマシタ通り殖エテ行ク事ニナルノデアリマス、是ハ一ツハ製鐵業獎勵法ノ效果ト見テ宜カラウト思ッテ居リマス

○正木照藏君 土曜日ニ製鐵所長官ニ色々製鐵所ノ前途ヲ承ツタキニ、其御說明ニ依リマスル中、製鐵ノ仕事ハ餘程六ヶシイ、斯ウ云フ狀況デ即チ投下シタ所ノ資本ニ對スル利息等ヲマルデ眼中ニ置カズシテヤッテ、先ヅ外國ノ鐵ト對抗スル事ガ出來ル位デア

アルト云フ様ナ說明ヲ承ツタ、製鐵獎勵ノ爲ニ一時ニ出來タ會社ノ前途、殊ニ日本製鐵會社等ノ前途ト云フモノガ、餘程危イモノト考ヘル、今ノ通りデヤッテ行ケバ次官ノ御答辯ノ通り十三年ニハ七割トカ八割出來ル計算ニナルカ知レマセヌケレドモ、ドウモ今日ハ何レノ製鐵會社モ非常ナル不況ニ陥ッテ居ルノデ、前途ノ存續如何ト云フコトハ、政府ニ於テハ御心配デハゴザイマセヌデスカ、元來製鐵獎勵法ト申シテモ、獎勵ノ程度ハ極メテ薄イモノデ、營業稅ヲ免除スルトカ、所得稅ヲ免除スルト云フ位ノモノデアリマシテ、戰ノ最中デアリマシタカラ、ア、云フ事業ガ勃興シタノデアリマスガ、今後果シテアレ位ノ獎勵ノ途デ、サウシテ今設計ヲヤリツツアルモノガ、存續サレテ行クモノデアアルカ如何ト云フコトヲ、私ハ製鐵會社ハ果シテ十三年ニサウ云フヤウナ鐵ガ出來ルカ如何ト云フコトヲ承ツテ置キタイ

○田中政府委員 御答致シマスガ、獨リ鐵ノ問題デゴザイマセヌ、今日我國ニ於ケル此金屬工業ハ、皆何レモ非常ニ苦痛ノ狀況ニアルノデアリマス、單ニ苦痛ト申シマシテハ、言葉ガ足りナイガ、皆生産費ヨリモ遙ニ安イ値段デナケレバ、生産品ヲ賣捌クコトハ出來ナイ、何レノ金屬業者ト雖モ、缺損ナラザルモノハナイト申上ゲテ過當ノ言トナイト思ヒマス、サウ云フ時代デゴザイマスカラ、今日唯今ヲ土臺ト致シマシテ、近キ將來ヲ考ヘマスレバ、ドウモ樂觀スル人ハ一人モアルマイト思ヒマス、併ナガラ今日ノ狀態ト云フモノハ、頗ル變則デアリマシテ、而モ戰時中ニ非常ナ好況ヲ呈シマシタ反動ヲ受ケテ、製鐵所ニ對シマシテモ、既ニ今日マデ確的ノ數ハ覺エマセヌケレドモ、何千萬圓或ハ一億圓ニ近イ程ノ缺損其他ノ經費ヲ投ジタモノガ、何レモ數年ノ間ニ取返シテシマツタト云フ其一斑ヲ考ヘテ見マシテモ、此變化ト云フモノノ非常ニ激シカッタト云フコトハ、御想像ニ難カラスト思ヒマス、而シテ唯今ノ現狀カラ見マスレバ、今申シマシタル通り、下ノ事業モ生産費ヲ償フニ足リナイ、勞力賃モ非常ニ高クナッテ居ッテ此高クナッタ賃銀ヲ一時ニ下ゲヤウガナイ、又各般ノ原料等ノ

經費モ皆増シテ居リマス場合ニ、生産物ノ價格ガ非常ニ下落シテ居ルノデアリマスカラ、皆缺損ニ缺損ヲ重ネテ居ル譯デアリマス、製鐵所長官ガ御答シタノモ、現狀ノ模様カラ困難ト云フ事ヲ申上ゲタノダラウト思ヒマス、併ナガラ一般ノ社會ノ狀態ガ安定致シマスレバ、相當ニ收支ノ平均モソコニ取レルト思ヒマス、ソレデ屢々申上ゲマシタガ、經濟調查會等ニ於キマシテモ、皆サンノ御評議ノ結果ニ致シマシテモ、只今問題ニナツテ居リマスル關稅ノ引上ゲニ依リマシテ、此仕事ノ爲メニ確カニ有力ナル一ツノ勢ヲ添ヘテ、將來ニ望アラシムル動機ニナルト云フコトノ考ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、政府ニ於テモサウ認メテ居リマス

○正木照藏君 私自身ノ考ト致シマシテハ、寧ロ戰ノ間ガ變態デアツテ、今日ハソノ常態ニ復シツツアルト考ヘマス、常態ニナレバ日本ノ如キハ遺憾ナガラ鐵ニ就テハ、天然ノ財源ヲ持ッテ居ラス、ドウシテモ外國ナドニ比較致シマス、製鐵ノ事業ガ餘程六ケシイ、斯ウ考ヘテ居ル、私ハ今ハ常態ニ復シツツアツテ、寧ロ戰時中ノ狀態バ變態デアルト思フ、ソレガ今日當リ前ノ狀態ニナリツツアツテ、即チ國ニ天然ノ鑛石ヲ持ッテ居ラスカラ、餘程此製鐵事業ガ六ケシカラウト考ヘマス、御話ニ依レバ餘リ心配ガナイ、其中ニハ收支債フヤウニナル、斯ウ云フヤウナ御考ラシク見ユルガ、ソコガ私共ニ分ラヌ、例ヘバ日本製鐵會社ノ如キモ、若シ次官ノ御説ニ依ッテ見ルト、十分有望デアルト云フ御見込デアルガ、或ハ財政經濟調查會ニ於テハ、其筋ノ熟練家ガ御調ニナツテ居リマスカラ、ソレニ對シテ私ハ非難スル限リデハアリマセスケレドモ、アレダケデ十分製鐵事業ガ發達シテ、自給自足ガ行ハレ得ルカドウカト云フコトヲ、更ニ確メテ置キタイ、是ハ大變ナ重大ナ問題デゴザイマス、モウ一ツ政府ハ産業調查會ノ方針ノ一トシテ、今關稅ノコトヲ實行サレントシテ居ル、其他ニ於テモ著々實行スル考デアルカ、ソレニ付テ何等ノ方策ヲ持ッテ居ルカト云フコトモ、併セテ伺ッテ置キマス

○田中政府委員 御答致シマス、私ノ言葉ガ足りナカッタカ知レマセヌガ、私モ御質問者ト事實ノ狀況ニ付テハ同ジ考ヲ持ッテ居リマスノデ、詰リ鐵ノ將來ヲ、自給自足ノ目的ヲ達シ得ルト云フ信念ハ、決シテ此戰時狀態ノ如キ狀態ガ回復スルモノトシテ、自給自足ガ出來ルト申上ゲタノデハアリマセヌ、戰時狀態ノ如キ變則ヲ離レテ、所謂通常ノ有様ニ歸ツテ、サウシテ其仕事ヲ繼續スル事ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ貴方ノ今仰シヤツタ或會社ノ事業ガ、續ク力續カスカト云フ問題ハ、御答申兼ネマス、殊ニ戰時中ノ非常ナ高イ設備費等ヲ投ジ、色々ナ無駄ナ經費ヲ掛ケテ出來上ツタ會社ノ如キハ、其回復ノ爲メニ金融カラモ困難ガ多ク伴フト云フ事情モアリマス、サウ云フ特殊ノ事情ハアリマシテモ、通常ノ有様ニ復シテ、此仕事ヲ進メテ參リマス上ニ付テハ、サウ悲觀スベキモノデナイト思ッテ居リマス、ソレカラ經濟調查會ノ方針其他ノコトニ付テ、政府ガ今後ドウ云フコトヲスルカト云フ具體的ノ法案ハ、マダ定マツテ居リマセヌカラ、此際御答ハ申上ゲ兼ネマス、併ナガラ大體ノ方針ト致シマシテハ、先程申上ゲマシタ如ク、此仕事ノ成ベク統一合同ヲセラル、ト云フコトニ向ッテ、歩ヲ進メテ參リタイト云フ根本方針ニ付テハ、調查會ト其感ヲ同ジウシテ居ル、斯ウ云フコトデアリマシテ、其目的ヲ達スルニ付テノ方法順序ハ、今後或ハ諸君ニ向ッテ御協賛ヲ願ハナケレバナラヌトモ思ヒマスガ、又ソレマデニ至ラズシテ、其目的ヲ達スルコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、此際確的ニ申上ゲ兼ネマス

○正木照藏君 此鐵ノミナラズ藥品染料等ニ付テモ、戰時中ノ即チ自給自足ノ方針ヲ以テ、色々會社ガ出來テ、之ニ對シテ色々補助ヲシタ、是ハ先刻何方カ御尋モゴザイマシタガ、其補助ガ今日ハ餘程多額ニナリツ、アル、是等ノ會社ノ前途ニ就キマシテハ、ドウ云フ政府ハ御考ヲ持ッテ居ルカ、或ハ其會社ガ前途見込ノナイモノデアルナラバ、何トカ之ニ對スル英斷ノ方法ヲ御立ニナルト云フコトガ、必要デハアリハシナイカト考ヘラレル

○田中政府委員 只今ノ質問ノ其他ノ藥品染料等ノ事ハ、他ノ政府委員カラ申上ゲマス

○正木照藏君 銑鐵ノ事ハ政府ニ於テ斯ウ云フコトヲ自給自足ノ趣意デヤツテ居ルケレドモ、ソレハ無理ナ話デ、其損失ヲ國家ガ補償シテ、ドウカ斯ウカ成立ッテ行カ知レマセスケレドモ、到底成立チ得ヌコトモ分ッテ居リマス、之ニ對シテ今日ニ於テ之ヲ先ヅドウ處分スルト云フ御考ハナイカ、到底成立タナイモノニ數百萬圓ノ補足ヲシナケレバナラヌノデアリマスカラ、ソレニ就テ詰リ何等カノ方法ハ御考ニナツテハ居ラスカ、製鐵會社ノ如キハ其部分ノモノ、一ツデアラウト考ヘルガ、ソレハ如何デスカ

○田中政府委員 御答申上ゲマスガ、此政府ノ今日保護致シマスル染料トカ、或ハ「グリセリン」デアリマス、ソレ以外ノ事モ御尋ニナリマシタカ

○正木照藏君 製鐵所ニ對スル保護ニ就テハ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ

○田中政府委員 御答申上ゲマス、此保護政策ハ固ヨリ一定ノ保護政策トシテ御協賛ヲ願ツタ譯デハナイノデゴザイマシテ、此保護政策ノ結果、結局是等ノ仕事ノ自給自足目的トシテ居ル譯デゴザイマシテ、自給自足ガ之ニ依ッテ達シ得ルト云フ目的ノ下ニ出來テ居リマス、固ヨリ是ハ保護ヲシナケレバナラヌト云フ程ノ仕事デアリマスカラシテ、其仕事ノ困難ナルコトハ勿論デアリマス、而シテ此保護ノ中ニハ、モット内容ニ立入りマス、最初ニ斯ノ如キ保護會社ニ對シテハ、莫大ナル試驗費ヲ投ゼシメテ、サウシテマダ營利事業トシテハ、成立チ得ル見込ノナイモノモ、ソレヲ成立タシメルヤウニ研究セシメツ、アルモノガ、色々ノ事柄デアリマスカラシテ、結局保護ノ年限ヲ經過シテ、或ル時代ニ到達シタ場合ニ於テ、立派ナ營利事業トシテ將來政府ノ保護ヲ要セズシテ、繼續シテ行キマスル事柄ト、又相當ノ經費ヲ投ジテ現在試驗ヲシテ見テ、其目的ヲ達スルコトガ出來ナイカラ、ソレヲ廢メナケレバナラヌト云フ仕事モアラウト思ヒマス、併シ大體ニ於キマシテハ、前申上ゲマスル通り、保護ノ目的ハ我國ノ産業自給自足ヲ計ルト云フ意味ノ下ニ出來テ居リマス、最後ニ至リマスレバ、繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスガ、或ハ廢メナケレバナラヌ事モアルカモ知レマセヌ、結

局サウ云フ事ニナツテ居リマス、ソレカラ又保護ノ金額等ハ最初政府ニ於テ豫定シタ如クニ行カナカッタト云フ事情モナイデハナカラウト思ヒマス、即チ之ヲ數字のニ申シマスレバ、結局補助ノ金額ガ豫算ヨリモ餘計ニ掛リ、缺損ノ方ガ餘計デアルト云フコトモ事實デアラウト思ヒマス、併シソレモ其内部ニ至ッテ色々委シク研究シテ見タナラバ、先程申シタ製鐵事業等ニ於テ、起業費其他ニ於テ通常ノモノ以外ニ費用ガ掛リ、例ヘバ染料會社等ニ致シマシテモ、仕事ニ掛ルトキニ總テ物價騰貴等ノ爲メニ、最初ノ計畫通りニ行カナイ、資本金モ固定資本ニ投ジテシマハナケレバナラヌヤウナコトデ、豫算ニ變化ヲ來シタヤウナ事モアリマス、單ニ鐵ガ殖エタト云フコトノミヲ以テ、目的ノ齟齬デアルト批評スルノモ酷デアラウト思ヒマス、此計算ノコトハ別問題ト致シマシテ、兎モ角モ大體方針ト致シマシテハ、詰リ産業トシテ是非必要ナモノデアアル、マダ保護ニ依ッテハ將來繼續スベキ見込ガアルト云フ前提ノ下ニ出來テ居リマス、今日ニ於テ其見込違ッテ之ヲ保護シナイト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ

○正木照藏君 此事ニ就キマシテ、尙ホ御尋ネシタイガ、御急ギノヤウデゴザイマスカラ、簡略ニ致シマス、私ガ御尋シタコトヲ能ク御記憶ヲ願ヒマス、ソレデハ外ノ政府委員ニ二三御尋シタイ、今度製鐵ノ方ニ電化製鐵ト云フコトヲ入レマシタガ、是ハ一體ドウ云フ御主義カラ之ヲ御加ヘニナリマシタカ

○崎川政府委員 電氣工業最近ノ發達ト致シマシテ、比較的石炭モ少クテ濟ミマスシ、且ツ水力ヲ利用スルコトモ出來マスノデ、石炭ノ節約ト云フ意味合モアリマス、ソレデ電氣製鐵事業モ種々取調ヲシテ、獎勵シタラ宜カラウト云フ意味デ出來タデゴザイマス、最モ矢張財政經濟調査會ノ答申ト一致シテ居ル譯デス

○正木照藏君 現時ノ狀況ハ如何デス

○崎川政府委員 現時此製鐵業獎勵法ガ改正サレル曉ニハ、約十一位出來ヤウトシテ居ルモノガアラウト思ヒマス

○正木照藏君 ソレカラ此從前ノ材料ニ關シマシ

テ、一方ニ於テ輸入税ヲ免除スルト同時ニ、一面ニ於テハ日本デ拵ヘタモノニハ補助スル、斯ウ云フ補助ヲスルコトニ就テハ、其爲サリ方ハドウナサイマスカ、價格ハ矢張日本ノ製鐵業者、造船業者ハ隨意ニ取引ヲスル、ソノ上ニ更ニ製造業者ニ補助スルト云フ意味デアリマス、價格ノ定メ方ハドウデスカ

○崎川政府委員 是ハ造船業者ガ實際ノ日本ノ鋼材ヲ使用シタト云フコトガアリマスレバ、其造船材料デ造リマシタ製造業者ニ、其輸入税ニ相當スルダケノ額ヲ政府カラ造ルコトニナツテ居リマシテ、始終其輸入税ノ額ヲ標準トシテ決メル譯ニナツテ居リマス

○正木照藏君 サウ致シマス、製鐵業者ト造船業者トノ間ノ價格ヲ何カ干涉サル、考デゴザイマスカ、サウデゴザイマセスケレバ、或製鐵業者ハソレダケ餘計輸入税ニ關スルダケノ補助ヲ貰ヒ、外ノ製鐵業者ハ貰ハナイト斯ウ云フコトニナリハ致シマセスカ

○崎川政府委員 是ハ造船業者ト鋼材ヲ供給シマス製鐵業者トノ間ノ價格ニ就テハ、干涉ハセヌ積リデアリマス、詰リ造船ニ使用シタト云フコトガ分リマシテ、初メテ金ヲ貰フコトニナルノデアリマス、造船材料ヲ造ッテ居ル人ハ獎勵金ヲ得スト云フコトニナル

○正木照藏君 モウ一ツ御尋シマスガ、鋼材ニ特典ヲ與ヘテ居リマスガ、他ノ鐵製品トカ、機關トカニ就テハ、其恩典ヲ及ボサスノデアアルカ否ヤ

○神輿政府委員 私カラ御答致シマスガ、矢張船舶ニ使ヒマスモノナラバ、原料ノ鐵ニ對シテ獎勵金ヲ造ルノデゴザイマス

○正木照藏君 ソレハ分ッテ居リマスガ、鐵製品、鐵製品部分品、機關又ハ機關部分品ハ、是ハ矢張補助シタルノカヤラヌノカ

○神輿政府委員 機關部分品若クハ鐵製品トアリマスガ、鐵製品ト云フト甚ダ範圍ガ廣ウゴザイマスガ、ソレハ命令ヲ以テ物品ヲ指定スル積リデアリマシテ、而シテ其指定スル物品ハ主シテ鋼鐵製品ト云フ意味デ指定スル積リデアリマス、鐵製品ノ中ニ鐵以外ノモノハ餘リ取入レナイコトニナツテ居リマス

○正木照藏君 機關ノ如キハ如何デス

○神輿政府委員 ソレハ矢張鐵デアリマス積リデアザイマス、若シ船ニ使ヒマス鐵製品ヲ内地ノ鐵デ造ッテ、サウシテ其鐵製品ガ船ニ使ハレスト云フ場合ニハ、矢張鐵ニ對シテ金ヲヤル、斯ウ云フ積リデアリマス、ソレカラ尙ホ免税ノ外ニ命令ヲ以テ指定スルト云フ點ニ於キマシテ、ドウ云フモノヲ指定スルカ、斯ウ云フ點ガ主要ナ點デアラウト思フ、是ハ内地ニ於キマシテ一般ニ出來テ居ル鐵製品若クハ機關等ニ就キマシテハ、免税シナケレバナリマセスカ、外國カラ輸入ヲ仰グト云フヤウナモノヲ、主トシテ指定スル積リデアリマス

○正木照藏君 鐵製品ノ中ニモ眞鍮デ拵ヘタ物ヤ、色々ナ物ガアル、機關ト申シマシテモ、鐵ノ原料ダケデヤルト云フコトハ、餘程六ヶシイト思フ、實際ニ於テサウ云フコトガ出來ルト云フ御見込デアレバ、其通り承ッテ置キマス

○崎川政府委員 只今ノ御尋ハ鋼材ニ就テノ輸入税ノコトデナク、製作ニ就テノ問題ト私ハ思ヒマスガ、サウデゴザイマス

○正木照藏君 第十條ニ「船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用スル鐵鋼材、鐵製品、鐵製品部分品、機關又ハ機關部分品」ト書イテアル、是ハ輸入税ヲ免除スル代リニ、之ニ依ッテ内地ノ製作業者ニ保護ヲ與ヘル、鋼材ノミニ付テ輸入税ヲ免除シテ、鐵製品、鐵製品部分品、機關又ハ機關部分品ニ及ンデ居ラス、兩方ヲ差別の待遇ヲスル、ソレガ承リタイ

○矢部政府委員 御尋ノ點ハ鐵鋼材ヲ船ニ使ッタ時分ニ、輸入税ヲ免除スル、内地品デアレバ獎勵金ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居ルガ、鐵製品若クハ機關、或ハ其部分品ニ對シテ輸入税ヲ免除シテ、内地ノモノニ獎勵金ヲ與ヘナイノハ、内地ノ生産ヲ害シハシナイカト云フ御尋ノヤウデゴザイマシタ、ソレニ對シマシテハ、指定ノ方法ニ依ルノデアリマシテ、鐵鋼材ノ如ク一般ニ指定ハシナイデ、鐵製品或ハ機關ニ就テハ、内地ニ生産ノ出來ナイ物、或ハ專賣特許品ニシテ、ドウシテモ外國カラ得ナケレバナラヌモノヲ指定スルノデアリマスカラ、假令獎勵金ヲ與ヘナ

クトモ、内地ノ生産ヲ害セナイト考ヘテ居リマス

○委員長(指田義雄君) 次ハ木下君

○木下成太郎君 大分御尋スルコトガアリマシガ、ソレハ全部拋棄シマス

○委員長(指田義雄君) サウ致シマスト是デ質問ハ

○野間政府委員 先刻「グリセリン」ニ就テ御尋ガゴ

ザイマシタ、日本「グリセリン」會社ガ九年度ニ於テ

多額ノ缺損ヲシテ居ル理由ハ、ドウカト云フ御質問

ガゴザイマシタガ、ソレハ昨年來「グリセリン」ノ値

段ガ非常ニ下リマシタ、ソレニ加フルニ「グリセリ

ン」ヲ用フル工業ノ不振ノ爲メニ「グリセリン」會社

デ造リマシタ品物ガ捌ケナイノデアリマス、要スル

ニ品物ノ値段ノ下落ト同時ニ、製品ノ販賣先ガナカッ

タト云フコトガ主ナル原因ヲ致シテ居リマス、是ハ

單ニ「グリセリン」許リデナクシテ、「スチアリン」オ

レイン」ト云フヤウナモノモ同様デアリマス

○委員長(指田義雄君) ソレデハ是デ兩案トモ質問

ヲ終了致シマス、直グ討論ヲヤッテシマヒタイと思ヒ

マスガ、ドウデゴザイマセウカ

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○鈴木錠藏君 本案ヲ審議致シテ見マスルト、大分

徹底ヲ缺イタ嫌モアリマスシ、尙ホ補足シタイ點モ

アリマスカラ、時間ガ許スナラバ修正ノ意見モ此際

提出シタイと思ヒマス、何シロ會期切迫ノ

折柄、若シ修正案デモ出シマスナラバ、所謂共倒レ

トナル憂ガアリマス、此案ノ提出ニ付テ遺憾ヲ感ジ

マシタノハ、是程ノ重大ナル問題ヲ今日初メテ改メ

ルト云フコトハ吾々ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマ

ス、モット餘裕ガアルナラバ、慎重審議ヲシタカッタノ

デアリマス、將來ハ斯ウ云フコトニ付テハ、モット餘

裕ヲ置イテ御提出アラシム事ヲ豫メ申上ゲテ置キタイ

ト思ヒマス、私ハ此案ニ付キマシタハ二ツノ希望條

件ヲ附シテ可決シタイト考ヘマス、一ハ化學工業ニ

就テ、一ハ製鐵工業ニ就テデアリマス、即チ化學工業

ニ就キマシタハ「加里工業脂肪分解工業石炭酸」カボ

合同經營スルヲ必要ト認ム、政府ハ速ニ其方法ヲ探
ルベシ、此二ツノ希望條件ヲ附シマシテ、兩案トモ可
決シタイと思ヒマス、御贊成ヲ希望致シマス

○星島二郎君 私ハ關稅ノ改正ハ一國ノ重大ナル問題
デアリマシテ、而モ關稅ヲ改正セントスレバ、相當與
論ヲ聽ク必要ガアルト思ヒマス、關稅改正ノ如キハ
政黨ノ政綱デナケレバナラヌ、總選舉ノ際ノ如キハ
之ヲ以テ一種ノ政綱トシテ十分國民ノ前ニ懸フル必
要ガアル重大案件デアリマス、然ルニ會期切迫シタ
今日、殊ニ鐵ノ問題等ハ重大ナル問題デアリマス、之
ヲ斯ウ云フ際ニ御出シニナル事ハ決シテ誠意アルモ
ノトハ思ハレマセヌ、仍テ私ハ本案提出ノ精神ニハ
反對スルモノデアリマセヌガ、十分慎重ニ審議セズ
シテ或ル警告ヲ附シテ通過スル如キハ立法府ノ眞面
目、責任デハナイト思フ、殊ニ鐵ノ問題ノ如キハ一體
日本ハ如何ニ鐵ヲ保護スベキカト云フ根本問題ハ、
最モ重大ナル將來永久ニ互ル問題デアリマシテ、是
コソ十分ニ考慮シナケレバナラヌデアリマス、然
ルニ本案ハ鐵ノ保護ニモナラズ、國家ノ收入ニモナ
ラヌ、從價稅ヲ從價稅ニ改メルト云フ程度ノモノデ、
頗ル徹底ヲ缺イテ居ルモノデアアル、化學工業ノ點モ
於キマシテモ「グリセリン」工業ノ徹底ノ保護ト云フ
點ニ就テ、此案ハ非常ニ缺點ガアルト思フ、斯ウ云フ
點ニ就キマシテハ十分ノ修正ヲ加ヘテ出來得ベクン
バ斯ウ云フモノハ一刻モ早ク改メタイ、産業ニ影響
致シマスカラ早クヤリタイノダケレドモ、何分會期
切迫シテ十分審議スル暇ガアリマセヌ、斯ウ云フ意
味ニ於テ政府ニ於テ再調査セラレ、國民ノ輿論ニ
問ハレタイト云フ意味ヲ以テ、之ヲ否決シタイと思
ヒマス

○木下成太郎君 私ハ原案ニ贊成シタイノデアリマ
ス、同時ニ條件ヲ附シテ此案ヲ通過サセタイノデア
リマス、只今星島君カラ御議論ガアリマシタ、サリ
ナガラ從來ノ關稅定率法カラ見マス、本案ハ我國
ノ産業獎勵ノ上カラ餘程考慮セラレテ居ル點ヲ認ム
ルノデアリマス、製鐵政策ノコトモ、議論ヲスレバ
色々アリマセウガ、又私共多クノ意見ヲ持ッテ居リマ
スガ、從來カラ比較スルト今日ノ程度ニ於テハ之ヲ

以テ適當ト認ムルノデアリマスカラ、此程度ニ於テ
關稅法ヲ改正致シタイと思フノデアリマス、但シ此
場合ニ於テ希望條件ガ附イテ居ル筈デアリマスカ
ラ、政府ハ今日以後ニ於テ銳意此事ヲ研究シテ、是ヨ
リ良キ方法ヲ見出シテ更ニ改正ノ途ヲ講ゼラレンコ
トヲ希望シマス

○鈴木錠藏君 只今提出致シマシタ希望條件ニ付キ
マシテ、字句ノ修正ヲ致シタイト存ジマス、「一加里
工業脂肪分解工業石炭酸」カラ「アランダム」
ニ對シ更ニ調査ヲ進メ速ニ關稅改正案ヲ提出スヘ
シ、「一製鐵工業ニ對シテハ更ニ進ンテ合同經營ノ方
法ヲ執ルヲ必要ト認ム」ト修正致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○鈴木久次郎君 此案ニ付キマシテ我黨ニ於テハ之
ヲ贊成スルト云フコトニ決シマシタ、此案ハ只今國
民黨ノ星島サンカラモ御述ニナリマシタガ、斯ノ如
ク重大ナル案ヲ此切迫シタル機會ニ提出スルト云フ
コトハ、慎重審議ヲ致ス餘裕モゴザイマセヌ、此點ハ
甚ダ遺憾トスル所デアリマス、而シテ此案ヲ見ルト
不十分ナル點モ追加シナケレバナラヌ點モ、修正シ
ナケレバナラヌ點モ、多々アルノデアリマスガ、併ナ
ガラ從來ヨリモ一歩ヲ進メタコトハ確ニ認メルコト
ガ出來ルノデアリマス、我國産業ノ獎勵ノ爲メニ裨
益スル所大ナルコトヲ確ニ認メテ居ルノデアリマ
ス、製鐵業ニ就キマシテ不十分ナルコトハ諸君ト御
同感デアリマスガ、是モ多少ノ利益アルコトハ確ニ
認ムル事ガ出來ル譯デアリマシテ、此造船獎勵ノ上
カラ申シマシテモ、尙ホ電氣製鐵事業ヲ加ヘタル點
ハ、何レモ經濟調查會等ニ於テモ、議論ノアツタ點デ、
略ク此意見ニ同様ナル意見モアツタ譯デアリマスノ
デ、此案ニ就テモ先ヅ已ムヲ得ズ贊成ヲ致シテ置キ
タイト思フノデアリマス、今日ハ申上ゲル迄モアリ
マセズ、世界各國トモ關稅政策ニ就テハ、大ニ研究モ
考慮モシテ居ル所デ、殊ニ亞米利加ノ如キハ新大統
領ガ大ニ關稅政策ヲ發揮スルト云フヤウナルコトニ
モ承知シテ居ルノデ、此上トモ我ガ當局者ニ於キマ
シテモ、十分ノ研究ヲシ、調査ヲセラレテ、更ニ來ル
ベキ議會ニ此不十分ナル點ニ就テハ改正案ヲ御提出

ニナルト云フ御決心ヲ以テ、慎重ナル調査ヲ進メラ
レンコトヲ希望シテ置ク次第デゴザイマス、兩案共
賛成ノ意見ヲ表シマス

○委員長(指田義雄君) 一寸此席カラ政府委員ニ御
尋シテ置キマス、只今鈴木君カラ提案サレマシタ化
學工業竝ニ製鐵事業ニ對スル希望ノ條件ガアリマス
ガ、之ニ對スル政府ノ御所見ハドウデゴザイマスカ、
一應承ッテ參考ニシテ置キタイト思ヒマス

○神輦政府委員 此案ニ就キマシテ尙ホ種々ノ御希
望ノアリマス點ハ、政府ニ於テモ十分之ヲ諒解致シ
マシタ、成ベク御希望ニ副フヤウニ致シタイト考ヘ
テ居リマス

○委員長(指田義雄君) 別ニ討論ガゴザイマセヌカ
ラ、採決致シタイト思ヒマス

○星島二郎君 此議案デアリマスガ、關稅定率法中
改正法律案ニハ國民黨ハ再考ノ意味デ否決、製鐵業
獎勵法中改正法律案ハ獎勵ノ必要アリト認メテ賛成
スルノデアリマス

○委員長(指田義雄君) 採決致シマス、先ヅ星島君
ノ關稅定率法中改正法律案ヲ再調査ノ意味ニ於テ否
決シタイト云ラ御意見ガアリマス、是ニ御賛成ノ諸
君ノ起立ヲ望ミマス

〔贊成者起立〕

○委員長(指田義雄君) 少數、仍テ否決ニナリマシ
タ——兩案一括シテ採決致シマス、關稅定率法中改
正法律案、竝製鐵業獎勵法中改正法律案、兩案ヲ可決
スルニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(指田義雄君) 滿場一致ト認メマス、可決
致シマシタ——希望條件ニ就テハ政府ノ同意モアリ
マスカラ、之ヲ本會ニ報告スルコトニ致シマス

午後零時二十四分散會

大正十年四月十二日印刷

大正十年四月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局